

## 膜天井でつくる 高くて広い空間

最近の施工事例の中から〈膜天井でつくる高くて広い空間〉のご紹介。

〈2辺固定懸垂膜工法と4辺固定膜工法による膜天井〉



### ■ 法政大学中学高等学校 体育館メインアリーナ

既存体育館の特定天井改修工事に膜天井が採用された。

左右に二辺固定懸垂工法及び中央に四辺固定工法の膜天井を吸音性能のあるNSクロスで施工。

室内ボールの跳ね返る音や応援などの声の反響が軽減できた。

設備は膜面開口処理をして対応した。

#### 膜天井仕様

左右（二辺固定懸垂膜）：懸垂スパン＝約10M 膜巾＝1600mm（左右各12列）,膜巾＝1657mm（左右各2列）,膜巾＝769mm（左右各2列）計左右16列  
使用膜材：NSクロス（吸音膜）不燃材認定品 質量390g/m<sup>2</sup>

中央（四辺固定膜）：寸法＝5220×4050（4箇所）,寸法＝2666×4050（2箇所） 計6箇所 使用膜材：同上 溶着接合あり

#### 設備用開口処理

高天井ダウンライト用開口：φ100×2ヶ φ50×1ヶ〈二辺固定懸垂膜 計28箇所〉

感知器開口：ガード用開口φ230〈四辺固定膜 計4箇所〉 吊りボルト用開口φ50×5ヶ〈四辺固定膜 計12箇所〉

非常放送スピーカー開口：φ50×5ヶ〈二辺固定懸垂膜 計6カ所〉

## 株式会社トニー

TONY Co., Ltd.

〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2767-34

TEL：046-271-3222 FAX：046-271-3223

E-mail:tony@tony-net.com

URL:https://tony-net.com